

デジタル化資料を中心に広がる国立国会図書館の電子展示会  
**「錦絵でたのしむ江戸の名所」を公開しました**  
地図から探せる、詳しく学べる、江戸の名所の錦絵484点



国立国会図書館ではコレクションのひとつとして錦絵を所蔵しており、その中には江戸の名所を描いたものも数多く含まれています。新たに公開する電子展示会「錦絵でたのしむ江戸の名所」では、主に江戸の中心部の代表的な名所103か所の錦絵484点を紹介します。色鮮やかな錦絵からは当時の江戸の名所の賑わいや景観、季節の花々や娯楽などを垣間見ることができます。

<http://www.ndl.go.jp/landmarks/>

(国立国会図書館ホームページトップ > 電子展示会 > 錦絵でたのしむ江戸の名所)



『上野清水堂不忍ノ池』

## ○探しやすい4つの検索メニュー


収録された錦絵は、「現在の地図から・江戸切絵図から・キーワードから・絵師から」探すことができます。たとえば、寛永寺の桜の錦絵が見たいとすると、キーワード「桜」や、地図上の「寛永寺」から錦絵を検索できます。探しているのが歌川広重の描いた『上野清水堂不忍ノ池』だとわかっていれば、歌川広重のページ（左上図）からも辿ることができます。

**歌川 広重 初代 (うたがわ ひろしげ 1)**  
1797-1858

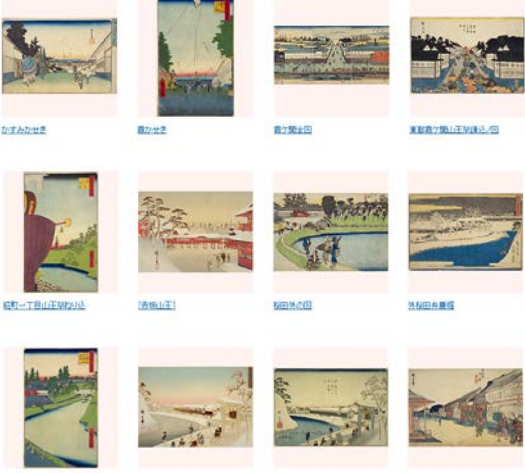
**解説** 歌川流立門人、30歳の頃から、寛政6(1800)年に野村胡堂が、その名字を継承した。はじめの号は、歌川、おちん、後、歌川や津和野など複数の通称したが、あまり小名がなかった。享保年間(1716-36)になると風俗画を好んで人気がたがり、風景画家としての地位を確立した。

**生年** 天明元(1810)頃-没年

**別称(通称)** 歌川 広重(おんどう) ひろしげ(1) 一遊園(1) 坊主(1) 一遊園(1) 坊主(1) 一立派(1) 坊主(1) 坊主(1) 坊主(1)



出典:『浮世行状記』『浮世』2(巻1)





『江戸切絵図』上からも名所の錦絵を辿れます。

## ○豊富なリンクでより詳しく知る

各名所のページ（左下図）では名所の解説や現在地などの情報に加え、江戸の絵入り地誌『江戸名所図会』や、名所に関連する絵図にもリンクしており、各名所をめぐる当時の文章や絵図を見られます。また、電子展示会「写真の中の明治・大正」へのリンクから、時代を経た後の名所の姿を写真で振り返ることもできます。

**寛永寺 (かんえいじ)**

**正式名称(よみ)** 寛永山 寛永寺 (かんえいざん かんえいじ)

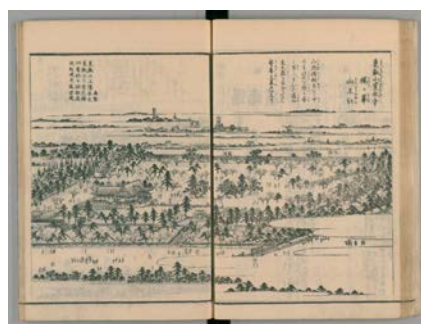
**現住所** 台東区上野公園1-1 上野緑木

**解説** 天有宗の寺。寛永2(1625)年開創。創建年寄にちなみ寛永寺と号した。山形は寛永山(東の社殿山の寛えんざん)。院号は 円福院。日光山に東照宮を造んでいた際、院号が、基町より江戸沼田の地をえられ、寺院を建立し武蔵國川崎の寛永山(寛永寺)から寛永山の名を採した。その後、徳川家康を祀りしとす東照宮、京都清水寺の轉宮堂を模した清水轉宮堂などが建立され、基町の保護の礼に免除を極めた。一期は徳川家康の廟として、寛永4(1627)年、徳川家康の廟とす。寛永4(1627)年、徳川家康の廟とす。寛永4(1627)年、徳川家康の廟とす。寛永4(1627)年、徳川家康の廟とす。

**関連リンク**

- 江戸名所図会を調べる:
  - 寛永山寛永寺(本文)
  - 寛永山寛永寺(第一(縁起))
  - 寛永山寛永寺(第二(縁起))
  - 寛永山寛永寺(第三(縁起))
  - 寛永山寛永寺(第四(縁起))
  - 寛永山寛永寺(第五(縁起))
  - 清水堂(縁起)
- 関連する絵図を見る: 国立国会図書館デジタルコレクション
- 明治・大正時代の写真を調べる: 電子展示会「写真の中の明治・大正」



「国立国会図書館デジタルコレクション」に記載されている『江戸名所図会』等はリンク先でそのまま読むこともできます。  
<http://dl.ndl.go.jp/>

電子展示会「写真の中の明治・大正」では、国立国会図書館所蔵の写真帳から当時の写真が見られます。  
[http://www.ndl.go.jp/scenery\\_top/](http://www.ndl.go.jp/scenery_top/)